

News Release

平成 23 年 3 月 4 日

株式会社日本政策投資銀行

代表取締役社長 室伏 稔

日本合成化学工業（株）に対し、「DBJ環境格付」 に基づく融資を実施

～5年連続最高ランクの格付を取得～

株式会社日本政策投資銀行（社長：室伏稔、以下「DBJ」という。）は、日本合成化学工業株式会社（代表取締役：小笠原憲一）に対し、「DBJ環境格付」に基づく融資を実施しました。

「DBJ環境格付」は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて3段階の適用金利を設定するという、「環境格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

日本合成化学工業株式会社は、昭和2年に日本初の合成酢酸メーカーとして設立され、合成酢酸の誘導品であるポリビニルアルコール（PVOH）や食品包装などに使われるエチレン・ビニルアルコール共重合樹脂において、世界有数のシェアを有する三菱化学グループの素材メーカーです。近年では、液晶ディスプレイの偏光板用PVOHフィルムをはじめとする情報電子材料など、今後の成長が期待される分野で積極的な展開を図っています。

今回の評価では、（１）「ゼロエミッション」達成に向けた廃棄物削減の取組を継続している点、（２）高度な製造工程管理により大気汚染防止に配慮している点、（３）認定基準に基づいた環境配慮型製品の定義付けを行い同製品の売上目標を設定した点、などを高く評価しました。その結果、日本合成化学工業株式会社は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を5年連続で取得しました。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決で、お客さまの信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、環境配慮型経営に向けたお客さまの取り組みを積極的に支援してまいります。

【お問い合わせ先】

関西支店 業務第二課 06-4706-6373